

バリアフリー旅提案

霧島の「安心して観光を」 NPOの

誰もが鹿児島観光を快適に楽しめるように、電話でアドバイスする「かこしまバリアフリー相談センター」が、霧島市で7月から始動した。車いすなど介助が必要な人や乳幼児連れの家族など旅行者にに応じて、始良伊佐地区を中心に旅を提案する。無料。

センターは同市隼人

電話で相談を受け付けている。



電話で観光客に旅行先を提案するかこしまバリアフリー相談センターのスタッフ

霧島市隼人町見次

のNPO法人eワーカース(紙屋久美子理事長)内にある。スタッフは2012年度からバリアフリー調査として宿泊・観光施設や公衆トイレなど300カ所以上を障害者の視点から調べ、観光マップにまとめたり、ホームページで公開したりしている。

け、旅行者の障害の程度や人数などに応じて、旅行先を提案する。喜井郁子センター長(60)は「観光客にも地域の人も、安心して旅行や外出ができるようサポートしていきたい」と話す。

センターでは、宿泊施設や飲食店従業員に対する勉強会や研修会も担当。車いすを利用して日高良二事務局長(49)は「介助の知識や困っていることへの気付きなどソフト面を向上すると信頼が高まり、リピーターも増えるはず」と話す。

今後、観光目的として多い温泉施設の情報を増やし、県内全域の情報を幅広く積み重ねていく。平日の午前10時～午後5時。問い合わせは0995(73)3678。(永井貴士)